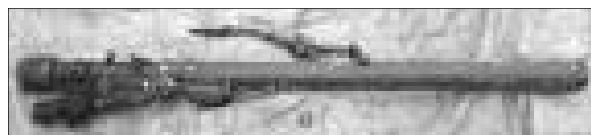


拉致・工作船から国民を守る、スパイ防止法を!!

今こそ、日本の平和と安全のため、有事立法も制定しましょう!



発射装置に装着された射程5000mの携行型ミサイル



ハイテク重武装船と判明した北朝鮮の工作船 (撮影=海上保安庁)

引き揚げられた北朝鮮の工作船は、対空ミサイルや対戦車ロケットランチャーなどで重武装した、まるで軍艦といえるものでした。まさに、日本の平和と安全を根底から脅かす

ものでした。これまで工作船は、日本人の拉致やスパイの潜入・回収、覚醒剤や麻薬の密輸などの間接侵略用と考えられていました。しかし今回、直接的脅威そのものでもあることが、判明したわけです。もし沿岸にある日本の原発などが狙われたら、一大事です。その脅威は、臨界事故の比ではありません。工作船が日本の領海で暗躍していることは、侵略行為であり、有事そのものといえます。一度としない」との口約束は、全く信じられません。平気で約束を破るのが、共産国の常套手段だからです。何よりも脅威であることは、スパイ行為や侵略行為を、未然に防ぐ法律がないことです。国民の生命と財産を守るため、早急にスパイ防止法有事立法を制定しましょう!

脅威の工作船は、軍艦並のハイテク重武装だった! 原発が狙われたら、一体どうする…

脅威の工作船は、軍艦並のハイテク重武装だった!

北朝鮮が発表した内容

- 横田めぐみさん(当時13歳) 1977年11月拉致 精神病で自殺? 遺骨不明?
- 有本恵子さん(当時23歳) 1983年7月拉致 ガス中毒死? 遺骨流出?
- 石岡 亨さん(当時22歳) 1980年夏拉致 ガス中毒死? 遺骨流出?
- 松木 薫さん(当時26歳) 1980年夏拉致 交通事故死? 遺骨再火葬?
- 田口八重子さん(当時22歳) 1978年6月拉致 交通事故死? 遺骨流出?
- 原 勲晃さん(当時43歳) 1980年6月拉致 肝硬変死? 遺骨流出?
- 市川修一さん(当時23歳) 1978年8月拉致 心臓麻痺・水死? 遺骨流出?
- 増元のみ子さん(当時24歳) 1978年8月拉致 心臓病死? 遺骨流出?
- 地村保志さん(当時23歳) 1978年7月拉致 翻訳員として平壤在住
- 蓮池 薫さん(当時20歳) 1978年7月拉致 翻訳員として平壤在住
- 浜本富貴恵さん(当時23歳) 1978年7月拉致 地村さんと結婚・平壤在住
- 奥土祐木子さん(当時22歳) 1978年7月拉致 蓮池さんと結婚・平壤在住
- 曾我ひとみさん(当時19歳) 1978年8月拉致 元米兵と結婚・平壤在住
- 久米 裕さん(当時52歳) 1977年9月拉致 不明



北朝鮮が横田めぐみさんとしている写真

請書の生年月日は、二人とも誤記。自分の誕生日を誤るなどあり得ませんから別



北朝鮮が生存していると発表した、日本側リスト外の曾我ひとみさん。元米兵と結婚していることで、米国向けだったか...

北朝鮮側が出してきた資料は、被害者家族や国民を怒らす、ひどく不誠実なものでした。何しろ死亡とされる八人の死因は全て変死、遺骨は水害で流出し、遺品も皆無などということ、信じろという方が無理なこと。自殺とされる横田めぐみさんの遺骨は行方不明。松木薫さんの遺骨は、再火葬してDNA鑑定が不能にしていたというから呆れます。添付された書類もデタラメばかり。例えば市川修一さんと増元のみ子さんの結婚登録申

人が書いたことは明らか。したがって、死亡とされる被害者が、まだ生きている可能性は大いにあり得ることなのです。また、リスト外の曾我ひとみさんが出現したことで、政府未認定被害者の存在が、俄然注目されています。現在、拉致が疑われている行方不明者は、七〇人以上いるとされています。この問題の解決なしに、国交正常化や援助を行うことは許せません。

北朝鮮による拉致被害者は、まだ七〇人以上も…

矛盾だらけのデタラメ回答

訪朝した小泉首相は、北朝鮮がデッチ上げだと否定していた拉致と工作船を認め、謝罪したということ、平壤宣言に署名しました。しかし、北朝鮮による安否情報は、八人が死亡、一人不明、墓は流出などという、きわめて信じがたい内容でした。

また、東シナ海から引き揚げられた工作船は、軍艦並にミサイル等で重武装していたことが判明しました。これらの行為は明確な主権侵害、侵略行為以外の何ものでもありません。このような国家犯罪を許さないため、スパイ防止法、有事立法の制定が急がれています。

ひどい!! 凄々認めた国家犯罪

号外 平成14(2002年)10月 本紙=プランケット判4頁 発行=月2回刊

思想新聞
The Shiso Shimbun

発行/IFVOC 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町36-6-9F 電話代表03(3496)7433 © 国際勝共連合2002

詳しくはホームページ(<http://www.ifvoc.gr.jp/>)をご覧ください。

拉致否定・北朝鮮擁護し、スパイ防止法潰しに狂奔した者は誰か？

「A級戦犯」は朝日新聞、社民党、共産党



アベック拉致事件を特報した『思想新聞』(1980年2月1日付)と号外(88年1月付)



スパイ防止法制定運動が本格的に始まったのは、折しも一連の拉致事件が密かに進行していた一九七八年。全国で「スパイ天国」を放置すれば国が滅びると訴え、翌年、有識者多数が発起人となって「スパイ防止法制定国民会議」が発足しました。

以後、運動が高まった八〇年、アベック拉致疑惑が浮上。早速本紙は事件を報じ、北朝鮮スパイの暗躍を糾弾しました。

この運動は全国的に展開され、八年には同法制定を求める地方議会の請願・意見書が、全地方自治体の過半数を上回る二八都道府県、一七三四議会で採択されました。八五年には自民党が、同法案を国会へ上程したのでした。



見開き頁など全紙面の半数を使い、スパイ防止法反対の特集を組む朝日新聞(86年11月25日付)

その結果、同法案は残念ながら審議未了で廃案。しかし拉致事件が明白になった今日、改めてスパイ防止法が必要であることを示しました。

スパイ防止法と、有事の際に国を守るための有事立法のない国は、日本だけです。今こそ、スパイ防止法と有事立法を国会で成立させましょう!

スパイ防止法、有事立法は世界の常識 今こそ、法案を国会へ上程・成立させましょう!

これに対して共産党や社会党は、左翼勢力を総動員してスパイ防止法潰しに狂奔し、マスコミもこれに同調。特に『朝日新聞』は紙面の全半数を使って、同法反対の一大キャンペーンを繰り広げたのでした。

その結果、同法案は残念ながら審議未了で廃案。しかし拉致事件が明白になった今日、改めてスパイ防止法が必要であることを示しました。

スパイ防止法と、有事の際に国を守るための有事立法のない国は、日本だけです。今こそ、スパイ防止法と有事立法を国会で成立させましょう!

北朝鮮が拉致を認めた後も、同党のホームページに「拉致事件は新しく創作された事件」と掲示し続け、怒った田嶋陽子議員の離党に及び、土井委員長があわてて謝罪らしき発言です。この党を頼ってしまつた拉致被害家族は、大変な災いを被りました。

有本恵子さんの両親の場合、土井たか子党首の地元だったことから、北朝鮮からの手紙を見せ、救出を依頼。直後、社会党北海道本部から「口外するな」と命じられ、恵子さん夫婦は同時期に《死亡》していたとのこと。社民党の責任は重大といえましょう。

北朝鮮が拉致を認めた後も、同党のホームページに「拉致事件は新しく創作された事件」と掲示し続け、怒った田嶋陽子議員の離党に及び、土井委員長があわてて謝罪らしき発言



土井たか子社民党党首

朝鮮労働党と友党であることを自慢し、一貫して北朝鮮を擁護・支援してきた、とんでもない党が社民党(旧社会党)



部下が拉致した崔銀姫女史(左)を、自ら出迎える金正日(右)『闇からの罅』より

「自分が指示した」と明言しています。七八年に拉致されて脱出した韓国の女優・崔銀姫と申相玉監督は、その体験を著書『闇からの罅(こだま)』(文春文庫)に生々しく証言しています。

北朝鮮の片棒を担いでいる社民党

どこの国の新聞、政党なのか？

北朝鮮が拉致や工作船を認めた途端、マスコミや政党はあわてて北朝鮮を糾弾しています。しかし忘れてはならないのは、拉致を繰り返させた日本国内の「戦犯」の存在です。拉致を認めなかったばかりか、デッチ上げだと主張する北朝鮮の片棒を担いできた者は誰か？

さらには、拉致や工作船の暗躍を防ぐためのスパイ防止法案の国会上程に對して反対キャンペーンを展開し、同法を潰した「A級戦犯」は誰か？

それこそが北朝鮮一辺倒のため「チョウニチ新聞」とも呼ばれている『朝日新聞』。さらには朝鮮労働党と友党を自慢していた社民党、そして共産党です。

今こそ、彼らの反対に惑わされず、国の平和と安全のため、スパイ防止法、有事立法を推進してまいりましょう。